



生まれてよかった。
住んでよかった。
合併してよかった。
心からそう思える南島原に……。

市民が主役の市政運営を目指して



6月22日、平成22年第2回南島原市議会定例会で、藤原市長が所信を表明しました。市長は、自らの政治姿勢や重要課題などを述べ、市議会や市民に対して理解と協力を求めました。

市長がすすめる具体的なまちづくり

私は、「市民が主役」、すなわち、市民参加が市政運営の基本であること、市民の皆さまと行政がお互いに協力し合う「市民協働の市政」を政治理念に、公平・公正で市民の目線に立った市政を今回の選挙で市民の皆さまに訴えてまいりました。

少子高齢化、景気の低迷など厳しい状況でございますが、市民の皆さまの安全・安心な暮らしを実現するため、市民一人ひとりに、主人公として市政に関わっていただき、皆さまの知恵と行動によって南島原市の将来の発展につなげることが私の基本理念でございます。

私の役目は、市民の皆さまと一緒に頑張って頑張ることはもちろん、市民が思い切り頑張れるように支援すること、また、その環境をつくり上げることと考えております。

「生まれてよかった・住んでよかった・合併してよかった」と思えるような、活気と元気にあふれるまちづくりに、全身全霊で取り組む決意です。

そのために、次の4つのキーワード、「人が元気になる」、「産業が元気になる」、「まちが元気になる」、「市役所が元気になる」を基本に市政を進めてまいります。

人が元気になるまちづくり

- 働く場の確保
若者が元気に活躍できる「働く場の確保」に取り組む。
・地域資源の特性を生かした新たな産業の創出や企業の誘致
・大都市への企業誘致の専門家の配置
- 次代を担う人材の育成
南島原市らしい個性ある教育の推進、教育環境の充実と地域貢献できる人材の育成を図る。

- ・学校教育施設、設備の充実
・外国語指導助手や特別支援員、相談員などの適正配置
- 小学校のありかた
統廃合を視野に入れた、南島原市にふさわしい教育のありかたを検討する。
- 生涯学習、生涯スポーツの推進
生涯を通じて学習やスポーツに親しむことのできる環境を整備し、まち全体の活性化を図る。
・公民館や体育館の活用推進
・生涯スポーツの振興
- 高齢者等福祉対策
住み慣れた地域の中で、生きがいを持って暮らせる環境づくりを行う。
・各種介護予防講座など、学習機会や相談窓口の充実
・ボランティア団体やNPO法人などとの連携・協力
・シルバー人材センターとの連携
- 福祉タクシー券
高齢者、障害者が必要なときに利用できる「福祉タクシー券」導入を検討する。
- 市民の健康づくり
市民の「生涯現役」を支える健康づくりを推進する。

- ・ほ場整備、畑地かんがい、ハウス施設整備などの充実
・つくり育てる漁業の基盤整備
- 商工業の振興
全国的に通用する市内特産品の販路拡大を図る。
・商品のブランド化
・積極的なPR活動
・全国生産量2位を誇る島原手延べそうめんの振興を図る。
- 観光の振興
新たな交流人口の増加を目指し、特色ある観光メニュー、観光ルートを創出する。
・恵まれた自然を生かした体験観光
・ひまわり観光協会の積極的支援



産業が元気になるまちづくり

- 経済対策の充実
国庫交付金などを有効に活用しながら、中小企業の経営環境の改善支援と地域経済の活性化に取り組む。
- 農林水産業の振興
基幹産業である農林水産業の生産性を高め、経営基盤の整備に努める。



みんなの力で創る輝く南島原

藤原市政が目指す姿



住んでよかった
生まれてよかった
合併してよかった

↓ 市政はこうなる ↓

市民協働の市政がもたらすもの
市民意識の醸成
じょうせい

*醸成(じょうせい):ある状態・気運などを徐々に作り出すこと。